



モデル事業

モデル事業

POWER UP!

いまこん通信

コミ創よりモデル事業が「今こんな感じ」とお伝えする通信紙

Vol.6

平成 25 年 8 月～ 9 月
明石コミュニティ創造協会
TEL : 078-918-5248

Model Reports

江井島・・・アンケート結果から江井島の現状を話し合う 住民に呼びかけ 67 名が参加

モデル事業 3 校区の情報交換会を開催

モデル事業の取り組みについての工夫や課題を共有し、お互いの活動に活かそうと、8月29日に市民会館で情報交換会が開催され、「松が丘」「江井島」「魚住」の3校区から計23名が参加した。

はじめに、各校区から組織強化やよりよい活動に向けた取り組みについて発表があり、校区ごとの特徴に合った取り組みが進められていることを共有した。続いてグループに分かれて情報交換。それぞれの取り組みを話し合う中で、「他校区の会議の進め方がわかってよかった」「自分たちの取り組みの良い点と改善点が確認できた」などの意見が相次ぎ、各校区にとって有意義な時間となったようだ。



グループごとに分かれて情報交換
(8月29日)

<平成 25 年 9 月 30 日時点> 明石コミュニティ創造協会が 8 月～ 9 月のモデル事業の動き取材しました。

松が丘・・・「考える会」とプロジェクトチーム 新体制に向けて一歩ずつ!

まちづくり協議会をパワーアップするために7月から2ヶ月に1回開催している「(仮称)これからの松が丘校区のまちを考える会」(以下、「考える会」という)。前回の「考える会」では、組織の課題について話し合われた。今後は課題解決への取り組みが求められる。

課題改善への取り組み

9月19日に第2回「考える会」が開催され、理事・協力員25名が参加した。前回に出たまちづくり協議会の現状の課題を改善して、理想の将来像に近づけるためにはどのような取り組みが必要だろうか。グループに分かれて「会

議のあり方」や「広報・PR」などについて意見交換が行われた。「参加者が話しやすいように会議のレイアウトを工夫しよう」「1年目の理事でもわかりやすいように説明が必要だ」など、多くの意見が出された。今後は出た意見を整理して、何から取り組んでいくのかを検討していく。

プロジェクトチーム 結成へ

少人数で意見の整理や方向性を検討してから「考える会」に臨んだほうが効率よく進むのではないかという意見からプロジェクトチームを結成することとなった。今後はプロジェクトチームで原案を作成してから「考える会」

で理事・協力員全体の意見を反映させていく。構成メンバーについては公募していく予定である。また、「考える会」の名称が「松が丘のまちづくりを考える会」に正式決定した。これからは理事・協力員が一丸となって、よりよい組織体制を検討していく。



「考える会」で意見を交わす
理事・協力員 (9月19日)

広報紙「ワンダフル江井島」、WEBサイト「江井島ネット」を開設し、まちづくりの情報を共有する新たな仕組みづくりを進めている江井島校区。同時に既存の地域行事の運営体制についても見直し、企画段階からチーム体制で取り組んできた「夏祭り」が8月10日に開催された。

地域行事を再編 第1弾「夏祭り」

夏祭りチームは、最初の企画会議では戸惑っていたものの、これまで関わりの薄かった団体が模擬店やステージの手伝いに参加するなど一定の成果があった。9月10日の役員会では、「夏祭り」を踏まえて良かった点

や悪かった点などの振り返りを行い、挙がった意見は来年度の体制に盛り込む予定だ。

全体会で情報共有 テーマ別に課題解決を

アンケートの集計を終え、分析を進めていたまちづくりプロジェクトが中心となり、9月13日に全体会が開催された。アンケート結果の報告と、意見交換を行うのが目的だ。少年自然の家の大会議室に67名が集結。少人数のテーブルに分かれて、「自治会」「子ども」「生活環境」など、事前に整理されたテーマ毎に意見交換した。江井島コミュニティ推進協議会の役員や、まちづくりプロジェクトのメンバーが進

行役を担い、地域課題の解決へ向けて話し合われた。地域だけで解決が困難であると思える要望が多いなか、「自分たちの住む江井島、自分たちで解決しなければいけない課題もある」と声が挙がる。1度の話し合いで解決することはできないが、多くの人が江井島の現状と向き合う時間の大切さが共有できた。



ざくばらんに話し合う住民のみなさん (9月13日)

魚住・・・多くの住民の声をまちづくりに アンケート集計作業始まる!

7月23日から順次配付してきた住民アンケートの回収が8月20日に終了した。3000を超える回答があり、回収率は約66%。住民の協力に感謝し、9月より集計作業に取りかかっている。

たくさんの方が参加し 楽しい作業に

この住民アンケートでは「災害・防災対策」「地域交流」「地域でのボランティア活動」「今後のまちづくり」という分野ごとに設問を設けており、集計結果をまちづくり協議会の活動に反映させることを目的としている。

第1回目の集計作業は9月6日に行われた。この日集まっ

たのは13人。2人1組になり、役割分担をして集計作業が進んだ。回答数が多いため時間はかかるものの、みんなで協力しながら、明るくわいわいと作業を行うという魚住の良さが表れていた。

集計作業はその後2回行われ、共に20名ほどの方の作業への協力があった。初めて参加した方も多く、誰もが参加しやすい雰囲気になっている。今後、集計作業が終わり次第、結果分析に取り組んでいく。

今後の取り組みの検討

アンケート集計作業と並行して検討チームミーティングが行われ、アンケートの集計・分析を



みんなで楽しく集計作業
(9月18日)

進めていく一方で、まち協が今後取り組んでいかなければならないことについて検討した。

そこで単位自治会・各種団体の実態把握、組織体制と年間行事の見直しという、大きく分けて3つの取り組みを行うことになった。単位自治会・各種団体の活動内容や予算状況などの実態把握から順次行っていく予定である。